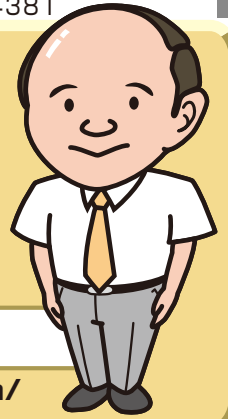




西野まさひと

活動報告号外



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】 <http://www.nishino1.com/>

西野まさひと友の会では、自民党東京都第21選挙区支部長 小田原きよしさんと西野議員との政治討論取材し、国政にかける思いを報告します。



自民党東京都第21選挙区支部長

小田原きよしさんの

国政での活躍に期待!

公務員 制度改革

硬直した 官僚機構

選挙制度 抜本改正

ねじれの 停滞

緊急事態 基本法

未曾有の 大災害

集団的 自衛権の 行使

中国の 脅威

「国民を守る」にはハッキリ言って 憲法改正が必要です

中国の 脅威

中国は東アジアの覇権を拡大しようとして、尖閣諸島の領有権を主張しています。この状況を招いたのは民主党に他なりません。鳩山政権下での日米同盟軽視・親中路線の稚拙な外交が深刻な事態を招きました。

未曾有の 大災害

東日本大震災は多くの教訓を残しました。被災の大きさ故に自治体の機能を失い、対応が遅れる事態も生じました。現行法では、避難指示や避難勧告は自治体の権限であり、首相にはありません。

ねじれの 停滞

めまぐるしく変動する情勢に、政治は即応できない状況です。その要因の一つは衆参のねじれ現象です。衆参両院設置の当初の意味は失われ、ほぼ同様の議会の併設により政治が上手く機能していません。

硬直した 官僚機構

政治のリーダーシップ不在が続き、巨大化した官僚機構が自らの組織の保身を優先する現在、様々な局面で齟齬が生じています。もはや官僚には自己変革は困難です。

自らの国を 自ら守れる 法整備を!

日米安保の強化が急務です。そして、米国のみに頼るのではなく自ら守れる法整備が必要です。

集団的 自衛権行使

救える 命を救える 法制度に!

震災時の危機管理には首相官邸の一貫した指揮と統制が必要です。

緊急事態 基本法

変化に 対応できる 政治体制に!

衆議院・参議院の在り方と役割を議論し、この国にとってどうあるべきかを考える時です。

選挙制度 抜本改正

小さな 政府を 目指そう!

様々な法律で守られた公務員の牙城を、整理・変革する時です。

公務員 制度改革

地方自治の現場でも、国政の停滞が負担として大きく自治体にのしかかっています。今の政治の閉塞感を打開するために、小田原きよし支部長に国政での改革を期待します。

日野市議会議員 西野 正人

国防
外交

自らの国を
自ら守れる
国に

日本の立場をハッキリ主張する戦略的な外交と、東アジアの現実に向き合う安全保障を確立するとともに、我が国の平和と安全を維持する日米同盟を更に強化します。

小田原きよしさん

プロフィール

昭和39年5月23日生まれ (48歳)

東京大学経済学部卒

富士銀行ニューヨーク支店勤務、モルガンスタンレー証券マネージングディレクターなどで23年間のグローバル金融マンとしての経験を持つ

趣味/トライアスロン、執筆

家族/自衛官の父、宇佐神宮神官家系の母、妻、一男一女



自民党

48歳

民主党政権は、基地問題で大きくブレて沖縄の人たちの心を弄び、日米関係にひびを入れました。その結果、日本の国防の足元を見透かした近隣諸国から主権を脅かされています。

私、小田原きよしは自衛官を父に持つ家庭で育ちました。国民の生命を衛り平和を保つ為に働く自衛官の生命は、国会議員の手に委ねられていると言っても過言ではありません。有事の際、危険を顧みず誇りを持って任務に向かう父の姿を見てきた私は、自衛官とその家族の思いを大切に、自ら国政の場で国民の皆様方の生命を守って行くことを強く決意いたしました。

昨年3月震災後いち早く被災地宮城県七ヶ浜町に単独で乗り込み、テント生活を続けながら1年以上町民の皆さんとボランティア活動に参加しました。被災地への救援、復興対応が後手後手にまわる政府の稚拙な対応に苛立ちを覚えました。国会議員は本当に仕事をしているのだろうかという強い憤りも覚えました。未だ進まぬ原発事故の処理、代替エネルギーの確保等、一刻も早く解決しなければならない問題が山積されたままの状況です。私、小田原きよしは居ても立ってもいられない気持ちで国政に挑みます。這いつくばう時は皆と共に這いつくばう代表になります。

過去数年、政治の世界を振り返ってみると、政治家が人気取りと口先だけのパフォーマンスに明け暮れていた様に見えます。決めなければいけない肝心な重要事項については、決定の先送りと官僚任せの無責任状態が放置されている様にも見えます。国民を置き去りにしてはいないでしょうか。厳しい現実を見据え、国民の皆さんに正直に説明して行く勇気のある政治を実現させます。

私、小田原きよしは国民を向いた政治を取り戻し、これから20年、30年先の我が国のビジョンを国民の皆さんと語り合える国にする為、全力を尽くして参ります。

国を守るにも、国民の生活を支えるにも、稼ぐ力を盛り返す必要があります。23年間国際金融の第一線で働いてきた小田原きよしは我が国が世界で勝ち抜ける経済力をつけることを中期のビジョンに据えて、再び国際社会で応分の敬意を受ける国にした上で次の世代に引き継ぎたいと願います。

私、小田原きよしは子供の頃から文武両道をよしとして育って参りました。我が国を強くするには強い人材の育成からが信条です。サラリーマンだった一般人としての常識と、二人の子どもたちの父親としての責任と、70代の親たちを支える現役世代としての自覚を持って国政で働いて参ります。

自民党東京都第21選挙区支部長
(日野市・立川市・昭島市)

小田原きよし



復興
防災

救える
命を救う
ために

長期の災害ボランティアの経験を生かし、東日本大震災からの早期復興を強く進めるとともに、「命を守る」具体的な防災対策を徹底します。



被災地宮城県七ヶ浜でのボランティア活動をつづった著作「ヒトのチカラ。ボランティアって何するの?」

景気
回復

世界で
勝ち抜ける
経済力を

やる気とアイディアを持った起業家が挑戦し、成長できる環境をつくり、世界をリードする人材の育成をはかります。

詳しい政策はこちら!
odawarakiyoshi.jp

